

県企業等農業参入塾

農地制度など解説

企業等農業参入塾が26日、鹿児島市の県庁で第2回講座が開かれた。(株)藤井建設(伊佐市)の藤井和郎社長らが講師を務め、参加した21事業所の代表や担当者らにアドバイスした。

藤井氏は、同社をはじめめ生コン製造や石油販売などの事業を展開するほか、同市内で農業経営に従事。16年、構造改革特別地域の認定を受けた大口市(当時)との提携で約1haの農地を確保し、野菜等の栽培・生産を開始した。4年目の19年には約180tのサツマイ



野菜等の生産について報告する藤井氏(鹿児島市の県庁で)

登録電気基幹技能者講習

中核的役割を期待

県電設協会

県電設協会(山ノ内文治会長)は27日、鹿児島市の鹿児島電設会館で登録電気工事基幹技能者特例講習会を開いた。24年度までの特例期間が4年目を迎える15人が参加、現場の施工管理能力や調整能力について一層の理解を深めた。



4年目を迎えた特例講習会=鹿児島市の鹿児島電設会館で

講習会は、19年度までに認定された電気工事統括技士や基幹技能者を対象に、20年度からの5年間を特例期間として開催。建設業法施行規則の改正(20年4月1日施行)に伴い、受講者に経営事項審査の加点評価を適用する。

講師は、同協会技術委員会の河野竹重副委員長(株)大鹿電業常務取締役が担当し、関連法規や施工・品質管理の在り方等について解説。河野副委員長は「建設現場の中核的役割が期待される」と状況に応じた実務について理解を求めた。

西農夫之専務理事は「特例講習は来年まで、その後は試験を伴った認定

る補助事業や制度資金などについて解説。さらに、県農業開発総合センター大隅支場の西原悟研究専門員が「さつまいも栽培の基礎」をテーマに講義した。

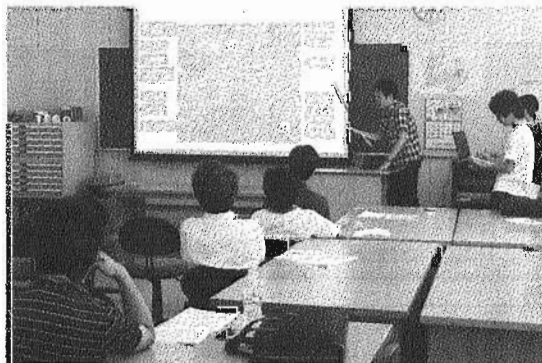
なお、最終日は9月1日に日置市の県立農業大

学校で経営計画の作成、ほ場演習などが予定されている。

鹿児島建設専門校
建築同好会

未来の始良市シンポ
独創性あふれる提案

鹿児島建設専門校建築同好会は20日、始良市の同校で「始良市シンポジウム」鹿児島建設専門校生が提案する未来



の始良市」を開き、未来の始良市へ向けた独創性あふれるプレゼンテーションを行った。写真強く語った。

同日は、「蒲生城を復興!! 観光都市としての始良市」「ベッドタウンとしての始良市」のテーマで、それぞれ未来の始良市についてプレゼンテーションを行った。

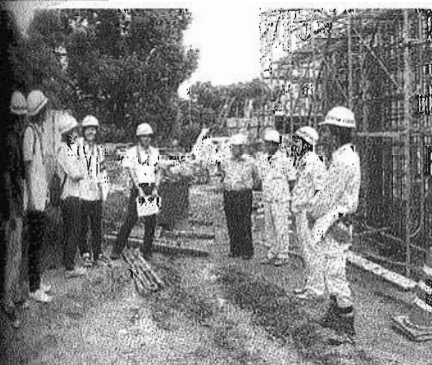
「観光都市としての始良市」を発表したグループは、武家屋敷の保全や商店街とのつながりなどの課題点を挙げつつ、「蒲生城と武家屋敷、八幡神社を観光スポットにそれ以外の施設との回遊性を高める」観

治体の総合評価にも反映されつつある」と既に開始している認定講習への参加も呼びかけている。

聴講した行政やマスコミ関係者等から、細かな指摘があったが、発表した各グループは独自の取り組みの成果を発表できて満足げだった。

丸天建設、現場見学会

5 鹿大生
人 進路に役立てて



丸天建設(株)(水口隆浩社長)は23日、鹿児島市内で同社が宅地造成中の2カ所の現場で現場見学会を行った。写真。鹿児島大学海洋土木工学科の学生5人が、L型擁壁や設計、砕石パイル杭の施工など現場の雰囲気を感じた。

現場は、紫原の宅地造成工事と事務所横の小原町宅地造成工事の2現場。学生らは、L型擁壁の工事概要や地盤改良における砕石パイル杭の施工などについて説明を受け、熱心に耳を傾けメモを取っていた。

同社の平山博幸土木工事部長は「品質向上をより高めた製品づくりを学んで、今後の進路に役立ててもらいたい。また、建設業を将来の選択肢の一つとして検討してもらえたらうれしい」と期待

地域貢献活動

駐車場整備などに精を出した。夕方までかけ作業を終えた会員らは「これで観光客や地元住民が気持ちよく過ごせる」と満足げだった。

～ 鹿屋肝属電気設備協組、鹿屋緑化建設業協 ～

合同で伐採作業



鹿屋肝属電気設備協同組合(宇都健三郎理事長)と鹿屋緑化建設業協会(出水浩二会長)は20日、鹿屋市営住宅3カ所で高木の枝伐採とせん定作業を実施した=写真=。

毎年、ボランティアで照明器具等の新設と点検を行っている鹿屋

肝属電気設備協組。手入れの行き届かない樹木せん定の要請を鹿屋市から受け、プロである同緑化協会に協力を打診し、合同で作業した。今回で2回目。

鹿屋市役所の出発式で、宇都理事長が「地域に奉仕することも信頼の一つ」と挨拶。原園辰男鹿屋市建築住宅課長も「皆さんの協力に感謝したい」と激励した。

作業は、平和住宅、上田崎住宅、新川ハイツの3カ所で実施。住宅や道路、駐車場、公園内に出ていた高木枝を高所作業車を駆使して伐採。光ファイバーなどの電線に注意を払いながら切りそろえ、伐採された枝木等は市によって処分された。

～ 田上建設 ～

高齢者宅で草払い

田上建設(株)(田上俊廣社長、霧島市)は11日、同市横川町の独居高齢者宅17戸で毎年恒例の清掃ボランティア活動を実施=写真=、

高齢者に喜ばれた。

同日は、社員15人が参加。午後1時から2班に分かれて町内の独居高齢者宅を訪問、住宅周りの草払いなどを行った。



このうち、同市横川町下ノの訪問宅では、庭先の草取りややぶ払いなどを汗だくになりながら黙々と作業を進めていた。

見違えるほどすっきりとなった家の周りに、住人も「お盆を前にホッとしました。本当にありがたいです」と感謝していた。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。
E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp

～ 大和建友会 ～

トンネル内きれいに

大和建友会(宮田勇三会長、11社)は25日、大和村内にある大小7つのトンネル内でボランティア清掃を実施した=写真=。

夏祭りに毎年行っている恒例行事で、参加した会員約30人は各当地区のトンネルで、すすやほこり、真黒になったガードパイプ白線、反射板などを高速洗浄機で洗浄。デッキブラシやぞうきんを使ってきれいに磨き上げた。

宮田会長は「これまで県道沿いで空き缶等のごみ拾いを行って、各トンネル内の汚れがかなりひどく、県と相談して安全対策のために実施した」と話す。

また、同日は役場職員や各集落青年団らと祭りステージ設置や